

もり りんやちょう
〈森林のお仕事紹介コーナー（農林水産省林野庁）〉



シカ柵の点検作業

管轄するのは、恵那市、瑞浪市の五つの国有林（上村恵那、岩村、明智、串原、小里）約五、〇三〇鈔と、四市町村の公有林野等官行造林地（上矢作町、瑞浪市、多治見市、御嵩町）約二九九鈔であり、里山から奥山まで広範囲に及んでいます。

岩村森林事務所は岐阜県恵那市の南東に位置する岩村町内に所在しています。

【東濃森林管理署岩村森林事務所】

首席森林官 安田 智



国有林と言えば現場、現場と言えば森林官！しかし、一般の方には余り馴染みがないと思います。そこで各地にある森林事務所や地域の特徴、森林官の仕事などを紹介していきます。



間伐作業実行中の注意看板

職員は、森林官一名、行政専門員二名の三名で、生産請負や造林事業など事業実行のほか、事業箇所の確認や境界巡検・各種森林調査等の業務にあたっています。

特にここ数年は皆伐に伴う新植地も増えていることから、獣害防護方法の検討や、既設防護柵の倒木などによる損傷の点検も重要な業務となっています。

また、一つの森林事務所管内では珍しく、二ヶ所の「山城跡」があります。岩村国有林の隣接には日本三大山城の一つ「岩村城跡」、瑞浪市小里国有林内の貸付地には県の史跡指定「小里城跡」があり、三十年度には両方の隣接人工林で間伐作業を行いました。一般の観光者も目に入る場所である

今後も、地域の声に耳を傾け、本署と連携し、安全第一を念頭に全員が無事故・無災害で「楽しい職場」をモットーに励みたいと思っています。

岩村国有林、明知国有林は市街から近いこともあり、事業実行箇所への見学、視察、体験などが多く計画され、また、県の植栽試験地設定など里山特有の利用もされています。

ことから、間伐の理解を深めてもらうため看板を掲示するなど地域にも配慮した作業を心がけています。



見学者へ説明する森林官



岩村森林事務所の三名
 (中央が筆者)

そんな経験もできる山の仕事を選んで共に仕事をしましょう。

未来の担い手へのメッセージ
 私は十年前まで北海道内の国有林にも居たのですが、新雪の山へ山スキーを駆使し、息を切らして登った尾根の上で、静まりかえった森林の中に入った時の感覚や、本州ではスギ林を越えヒノキ林の尾根で立ち止まって見上げる時、心が「スー」と「ホッ」となった感覚を忘れません。自然の中に居ることを痛感し、その中では人間がとてもちっぽけな存在だと気づいたり、昔の人の植林に感動したり。いつもではないですが、これらの記憶がずっと残っているのは、恐らく人生の中でも貴重で価値のある時間なのだと思います。そんな経験もできる山の仕事を

選んで共に仕事をしましょう。

もり 〈森林のお仕事紹介コーナー（森林・林業）〉

受注してくださる民間事業者あつての国有林。そこで、国有林の植林や間伐などを行う森林・林業事業者からの投稿をもとに、頑張っている若者や女性技術者などを紹介していきます。



長野森林組合

まるやま やすみ
丸山 恭史
(二〇一七年入社)



木材を運搬中の丸山さん

■事業の概要

請負事業：製品生産請負事業
(素材生産ほか北信2黒姫山
(伐採・造林一貫作業))
発注者：北信森林管理署

事業内容は、黒姫山国有林の六十一年生のスギ人工林約一四・五haの皆伐と機械地拵、植栽の一貫作業です。伐採搬出作業に使用する重機を地拵作業に活用するのでコスト削減につながります。また、植栽時にフォワーダを使って苗木運搬をしますので、運搬労力とコストの軽減ができます。

■現場での役割・魅力

現場ではチェーンソー伐倒、スイングヤードでの集材、フォワーダでの運材を行っています。日頃、「二つ一つの作業をどうすれば効



率良く安全にできるか」を考えており、思った通りの伐倒ができた時や、今日はこれだけの材を出す事ができた等の達成感を感じられるのが林業の魅力だと思います。



■森林・林業の世界に入ったきっかけ

私は山村で生まれ育ったので、森林を常に身近に感じていました。小学生の時に自然に関わる授業で、木を伐倒する場面を初めて見て、人間の何倍も大きい木を倒せるということに衝撃を受け林業に興味を持ちました。それがきっかけで林業について学びたいと考え



長野県林業大学校に進学しました。そして、林業の現場の技術、考え方や知識を更に身に付けたいと思い長野森林組合に技能職員として就職しました。

■未来の担い手へのメッセージ

林業はとても危険な仕事ですが、一つ一つの作業を丁寧に行うことで危険を減らすことができます。私も安全作業に注意し、技術や知識を更に身に付け作業効率を上げ、安全な職場作りに取り組んで皆さんが働く環境を整えて待っています。

もり
〈森林のお仕事紹介コーナー（林業土木）〉

受注して下さる民間事業者あつての国有林。そこで、国有林の林道や治山工事などを行う森林土木事業者からの投稿をもとに、頑張っている若者や女性技術者などを紹介していきます。

シリーズ

「林業土木業界からの便り」



森林テクニクス 名古屋支店

わかやま 直渡
 若山

(二〇一八年入社)



現地で測量作業を行う若山さん

■業務概要・目的

請負業務：林業専用道等調査設

計業務（愛知県

多米林業専用道 延

長一五二（ト）

発注者：中部森林管理局

本調査地は、愛知県豊橋市岩崎町に位置する豊橋国有林です。当

業務は、効率的に森林施業を実施するため、既設多米林道を延伸し、既設岩崎林道へ接続する路線の調査測量設計です。



計画路線の現況写真

■現場での役割・魅力

林業専用道の測量設計業務は、準備計画・現地踏査において計画箇所の地理的条件、森林施業ポイント、作業の危険性を把握して、路線勾配・コントロールポイントならびに車廻し・待避所の位置、残土処理の方法等について適切な方法を考え、実施する必要があります。現地で私は主に測量の器械マンとして業務に携わりました。まだまだ未熟者ですが、先輩方から指導していただきながら、予定



横断測量を行う先輩方

通り作業を進めることができました。

また写真撮影ではドローンを使用し、森林施業予定地、国有林界等、計画路線との位置関係が明瞭となるように撮影しました。これからの時代、新たな技術がさらに増えていくと思うので、しっかりと身に付けて、効率よく業務に取り掛かれるようにしたいです。

業務は、デスクワークだけでなく、現地調査のために現場へ出て山を歩くことが楽しみの一つです。都会のコンクリートに囲まれた近代的な生活も良いですが、自然相手に仕事ができる等、色々な魅力があると思います。

■森林・林業の世界に

入ったきっかけ

私は子供の頃から山に登るのが好きだったので、高校は自然環境について学べる学校に行きました。働くならそういった森林や自然に携われる仕事がしたいと思い、就職しました。

■未来の担い手へのメッセージ

私は今年二十歳になったばかりで、職場内に同世代の人が少ないので、これからもっと若い技術者が増えてほしいと思います。

日本は森林面積が国土の約七割を占めているので、林業は今後更に需要が増すと私は思っており、これからも活躍の場が存分にあると思います。

林道は山に道を通すことで森林の手入れが楽にできるようになり、手入れが進めば水源涵養機能や災害防止等の公益的機能の向上につながります。普段、人の目に触れることは少ない仕事かもしれませんが、達成感を感じられて、やりがいのある仕事です。若い皆さんにもぜひ興味を持っていただけたらと思います。